



第11回 かながわ感動介護大賞 感動介護エピソード募集

介護の現場では、介護職員の方々が、高齢者の方々の持っている能力や思いを生かしつつ心豊かな生活を送れるよう、献身的なサポートが日々行われています。

「かながわ感動介護大賞」は、介護サービスを受ける中で小さな感動、例えば嬉しかったこと、心に響いたことなどのエピソードに光をあてることで、介護の素晴らしさを多くの人に伝え、介護の魅力を発信することを目的にしています。

“あなたが受けた” “あなたの身近にある” “職員の方に感謝の気持ちを伝えたい” 介護のエピソードをご応募いただけませんか。

賞について

- ・感動介護大賞 最優秀賞 1作品 優秀賞 5作品程度
- ・応募者と、作品に登場する介護を提供した個人・事業所等の両方を表彰
- ・入賞者に表彰状・楯・副賞を贈呈、応募者全員に参加賞を贈呈
- ・選考結果は応募者全員にお知らせ

介護サービス利用者・ご家族等の皆さまへ

- ◇ 介護職員の方への感謝の気持ちや、介護サービスを利用される中で心に響いたことなどをご応募ください。皆さんの作品を広くご紹介することにより、介護現場の職員は勿論、同じ境遇の方々の励みにもなります。
- ◇ 学生さんなど、介護職員・利用者・家族でなくても、感動の場面を直接見聞きした方からのご応募もお待ちしています。

介護保険施設・事業所の皆さまへ

- ◇ 介護保険事業に携わる皆さんは、小さな感動など、日頃から沢山あって、応募する程のことではないと思っていませんか？
- ◇ ちょっと嬉しかった出来事なども職員間で共有することで、疲れも和らぎ、次なるパワーが湧いてくることもありますし、こうした取組を「ビタミン剤」と呼んでいる事業所もあるようです。
- ◇ エピソードを広く紹介することによって、介護の仕事の魅力を伝え、皆さま方とともに介護現場を盛り上げていきたいので、ご応募お待ちしております。



***** 募集要項 *****

募集案内

- 神奈川県内にある事業所等の介護職員から受けた介護サービスの中で、嬉しかったことや、心に響きありがたを伝えたいと思ったエピソード、介護サービス等まつわる感動的なエピソード（嬉しかったこと、心に響いたことなど）を、おおむね600字以内（短文・詩等でも可能）
- 未発表で日本語で書かれたもの、創作ではないものに限りします。
- エピソードの介護従事者が、応募時点で当該施設において介護サービス等に従事しているもの
- 特定の事業所の広報を目的としないもの
- 営利企業の名称を作品中に含めないもの

応募資格

- 県内にある介護保険施設・事業所等から介護サービス（地域の支え合い活動も含む）を受けている方とその家族の方
 - 県内にある介護保険施設・事業所等で介護サービス（地域の支え合い活動も含む）を行っている職員の方
 - その他、神奈川県内にある介護保険施設・事業所等の介護サービス（地域の支え合い活動も含む。）による、介護にまつわる感動の場面を直接見聞きした方
- ※ 介護を受けた本人又は家族以外の方が応募し、選考過程で受賞候補となった場合には、介護を受けた本人又は家族に、別途、公表する旨の承諾を得ていただきます。
ただし、介護を受けた本人が死亡しており、家族の所在も分からない場合は不要です。

募集締切

- エピソードの応募は随時受け付けています。ただし、各年度の締切日以降の応募は、翌年度の選考対象となりますので、御了承ください。
- ※ 令和6年度の締切日は、令和5年度末以降にホームページ等でお知らせする予定です。

応募方法

- 次のいずれかの方法でお送りください。

① ホームページ専用フォームからの応募

【専用フォーム】（かながわ感動介護大賞ホームページ）

QRコードで応募ページに直接アクセスできます

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f420254/>

② 次ページの応募用紙に必要事項を記載して郵送

【応募先】

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県高齢福祉課「かながわ感動介護大賞」担当



その他

- 応募作品の編集・著作権を含む著作権のすべては、神奈川県に帰属し、応募作品は返却しません。
- 応募作品
県個人情報保護条例に基づき慎重に取り扱い、「かながわ感動介護大賞」の募集に関する連絡・表彰事務にのみ使用します。
- 応募者の氏名、サービスを提供した施設・事業所職員の氏名の県のホームページ・作品集等への掲載は、応募者並びに当該施設・事業所職員に確認をとった上で行います。
- 応募作品は、神奈川県のホームページやソーシャルメディアに掲載するなど、神奈川県の高齢者福祉行政に関する事業に使用することがあり、応募者は応募の時点で作品を公表することに同意したものとみなします。
- 受賞候補作品のエピソードの対象となった事業所が、選考時に廃止されている場合は、事業所の表彰は行いません。
- 応募者が複数の作品に応募した場合は、選考過程において最上位となった1作品のみを受賞または佳作の対象作品とします。

かながわ感動介護大賞感動介護エピソード応募用紙

タイトル（題名）			ふりがな 氏 名		年齢	
住 所	〒		電話番号		職業	
エピソードにある 施設・事業所名			事業所等の 所在地		介護職員名 （又はグループ）	
表 彰 式 等 に お い て 匿 名 を 希 望 す る					はい ・ いいえ	

※マス目は縦書き・横書きどちらでもご利用ください。（マス目にこだわらずにご記入いただいても結構です。）

[illegible]

★この応募用紙をどちらで入手されましたか。（該当のものに☑をしてください。）

☐介護保険施設・事業所 ☐市町村の窓口 ☐県機関 ☐県ホームページ ☐その他（ ）

これまでの受賞作品や受賞作品を基に作成した ドキュメンタリー番組をご覧ください！

第10回最優秀賞受賞作品のご紹介

ゴルフ、プール、旅行と楽しんでいた主人がコロナ禍で自粛中、突然脳梗塞で倒れ半年の入院、一年間の自宅介護中、2021年12月87歳の人生を終えました。娘と二人で二人三脚24時間365日の介護、重度高次脳機能障害は想像を超える過酷な後遺症でした。食べる事も意思表示も出来ない主人が不憫で哀れで抱き合って泣いてばかりでした。胃瘻の注入、オムツの世話、何より大変だったのは、昼夜を問わず歩き廻る為、転ばない様に、誤嚥に注意したり、一時も休まる時間も無く無我夢中で4カ月近く過ぎ、心身共に疲れ果て途方に暮れた頃、一筋の光が見えました。それは看多機で居心地良く過ごせる様にと専用椅子、ドライブ等々、創意工夫してもらい、看多機利用を毎日でもと言われた時の驚き嬉しさは忘れられません。もう一度、頑張る勇気を頂きました。ユーモアのある主人は、冗談を言うとニヤッと笑い、私達も笑顔が戻りました。看多機にも嬉しそうに行き、生活のリズムも出来、ホッと致しました。胃瘻交換で2日間の入院中に急変、アッと言う間に旅立ちました。未だに介護中の姿が思い浮かび会いたくて涙が込上げます。後日、看多機の皆様が待っていてくれたと知り、主人は大事にされていたと思うと嬉しく気持ちが和みました。看多機にお世話になって良かったと感謝の気持ちで一杯です。優しさ、思いやりの心に大切さを学ぶ事、多々ありました。何より皆様との出会いが宝物だと思います。

作品集

- ◇ 神奈川県ホームページでこれまでの受賞作品等をご覧ください。
- ◇ 作品集(冊子)も作成しています。希望される場合は、お気軽にお電話ください。郵送いたします。



ドキュメンタリー番組

- ◇ 「かながわ感動介護大賞表彰式」の様子や受賞エピソードにまつわるインタビュー等を収録したDVDを作成しています。
- ◇ ドキュメンタリー番組動画は神奈川県ホームページでご覧いただけますが、過去のDVDをご覧になりたい方は、貸出等も可能なので、お気軽にお電話ください。



動画ページ QR コード

- ◇ 研修や授業の教材としてもご利用いただけます。また、病院や企業の待合スペースなどで、映像を流していただくことも可能です。



かながわ感動介護大賞 Facebook
<https://www.facebook.com/kanagawa.kandoukaigo>

問合せ先

- ◇ 神奈川県高齢福祉課 045-210-4835 (直通)
- ◇ 神奈川県かながわ感動介護大賞ホームページ
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f420254/>